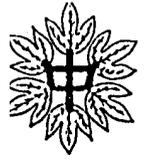


青雲石

八王子市立第六中学校
学校だより
令和7年4月25日



<http://hachioji-school.ed.jp/dai6j/>

自分の生き方を左右するきっかけ

校長 大熊 一正

ある鉄道雑誌が、この4月発売の令和7年6月号をもって廃刊となります。私は、この鉄道雑誌を毎月購入していたのですが、そのきっかけとなったのは、中学1年生の時、たまたま鉄道好きが同じクラスに3人いて、それぞれ3つある鉄道雑誌を分担して買い、お互いに見合おうと決めたことでした。昭和50年(1975年)の6月号(4月発売)から実に50年間にわたって、毎月購入したことになります。

私は、中学2年の時に転校していますので、この同級生との付き合いも1年半で終わってしまいました。その後、4回にわたる引っ越し等を経て、いまだにこの50年分の鉄道雑誌は、段ボール箱等の中に入れて捨てずに引っ越しています。2人の同級生が今も担当した鉄道雑誌を購入し続けているのかどうか分かりませんが、よく続いたものです。

4月になって新しいスタートを切りました。1年生にとっては、新しい仲間との生活の始まりです。また、2年生、3年生にとってもクラスのメンバーが変わり、今まであまりよく知らない人とも同じクラスになったかもしれません。そのような変化は、自分にとって新たなきっかけになることもあり、それが、自分の人生にとって大きな影響を受けることかもしれません。人との出会いは、そのようなほんの些細(ささい)なことから始まるものです。

ほとんどの場合、人との出会いは偶然に起きたことです。その偶然を大事にできるかどうかは、自分の気持ち次第です。一方で、人が一生の間に出会うことができる人の数には限界があります。その中でも、学校での出会いの数はとても多いのです。

ぜひ、この4月のスタートを大切に、出会った仲間を大切にして、これからの六中生活を送っていきましょう。3年生は、残り1年でそれぞれの道へと進んでいきます。そこでの出会いは、今までとは全く違うものになるでしょう。そのためにもこの1年間を大事に過ごしてほしいと思います。

同じように、先生との出会い、部活動との出会い、いろいろな学びとの出会いも、一生を左右する大事な出会いです。学校にはそのような出会いがたくさんあり、皆さんの成長につながっているのです。

特別支援教育の充実を図っています

第六中学校における特別支援教育では、今年度より開設された特別支援学級1組のほかに、週1～2時間の個別・小集団学習を行う特別支援教室（フレンズ）があり、いずみの森義務教育学校から4名の先生が巡回指導に来られ、対応にあたっています。さらに、その取組の一環として、日々子どもたちの学習や生活面の困り感に応じた指導・支援を充実させていくために、東京都教育委員会より巡回相談心理士の先生が年13回来校され、専門的な立場から助言をいただいております。

また、各学年の数学の授業で苦手意識をもつ生徒への学習支援とともに、1組での学習活動に取り組む生徒への支援を行う学校サポーターさんも、それぞれ配置されています。

今後も、生徒1人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を継続して行ってまいります。

今年度も校内別室支援室を開設しています

様々な理由により学校に行きづらくなってしまった、教室に入れないといった生徒をサポートするために、今年度も校内別室支援室を開設しています。場所は、北校舎2階多目的室Eです。ここであれば、登校・学習できる生徒に対して、利用したいときに利用できる居場所として、生徒と別室指導支援員が関係性を築きながら生徒個々に応じたサポートを行っていきます。学校のほぼすべての授業日に支援員が常時2名で対応いたします。

セーフティ教室を開催しました

4月24日木曜日の1校時、体育館にて「セーフティ教室」を開催しました。講師として、東京都ファミリーeルール事務局より、四方治之先生をお迎えして、インターネット・スマートフォンの使い方や、SNS等の日常の中に潜む危険について、説明動画を活用しながら講演をいただきました。



この場を通して、インターネットのもつ便利さと同時に、その恐ろしさを生徒たちは感じ取ったと思います。

また、今回は20名以上の保護者や地域の方々も参加いただき、終了後には第2部として、情報モラル等に関する意見交換会を行い、多くの感想や意見が交わされました。